



教育・研究活動紹介



「遊びの中で学ぶ！」授業を実現する ー 予防教育科学センターの夢キラリ☆ ー

◆ 予防教育科学センター 所長 山崎 勝之

子どもたちにとって、教師にとって、学校は楽しい居場所になっているだろうか。今の学校を見ていると、残念ながらそうではない。

子どもたちが授業に没頭する姿や、はちきれんばかりの笑顔が少なすぎる。教師も、授業にやりがいがあり、子どもたちが楽しみにしてくれたら、どんなに癒やされることだろう。

ご存じだろうか？ 無意識中の情動、それが意識に上った感情がたつぷりと喚起され、その瞬間に本当の学びが起こることを。小難しい理論を抜きにすれば、「子どもは遊びの中で学ぶ」と言える。子どもが遊び、とくに集団遊びをしているときは、このことが自然と実現される。教室での授業という時空間を遊びで染め、学力から健康・適応まで守り育てようという教育の実現。それが、予防教育科学センターが進めるトップ・セルフと呼ばれる学校予防教育だ。

この教育はほぼ完成した。完成したからには、全国津々浦々まで学校で実施してもらいたい。目下8府県に広がっているから、全国普及も夢ではない。そのため、センターのスタッフは獅子奮迅の活動をしている。役立たずで見ているだけなのは、センター所長だ、という噂もある。

学校への導入は、ご安心めされ。その手順は完璧だ。センターからのサポートも万全である。草の根の広がりを目指して進めてきたこの教育は、立ち枯れることもなく広がってくれている。これま



での障壁の高さからすれば、奇跡の進撃と言ってもよいだろう。

「千年の時を越え、なお真実となる教育へ！」

センターの挑戦は続く……。



子どもたちが喜々として参加する「予防教育授業」での集団遊び